

西三河支部

施設見学会開催

西三河支部(天野邦彦支部長)は10月19日(金)～20日(土)石坂産業株式会社(埼玉県入間郡三芳町上富1589-2)へ支部の施設見学会を行いました。

初日は東岡崎駅南口に参加者20名が集合、バスに乗りし東名高速道路を走行して江ノ島にて昼食を摂り、午後から鎌倉の鶴岡八幡宮、鎌倉大仏を巡る社会見学を行い日本の歴史について学びました。夕刻には初日の予定を終え横浜にて宿泊しました。

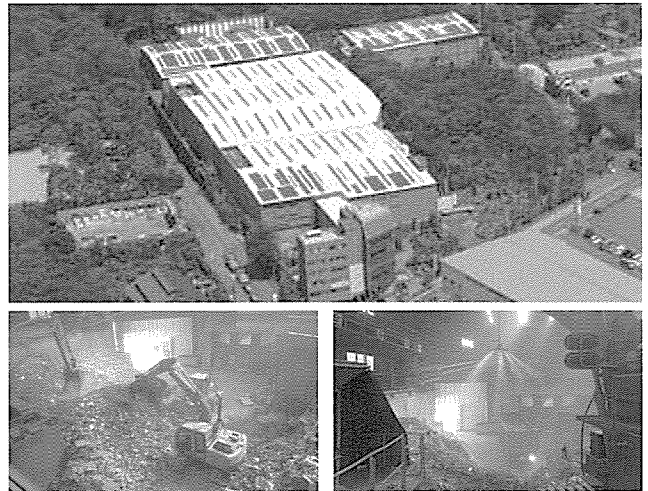
二日目は視察先の「石坂産業(株)」にて施設見学を行いました。同社は“100年先を見すえて、技術を貫く”をコンセプトに、ゴミにしない、廃棄物処理ではなく『資源再生』、業界のイメージを変え、『廃棄物』という言葉そのものを、なくしていくことが使命であるとのことでした。

—全天候型独立総合プラント—

建設系廃棄物の中でもリサイクルが困難な混合廃棄物のリサイクル技術の開発を続け、減量化・リサイクル率98%を達成しています。

●廃コンクリートのリサイクル(埼玉県再生事業者登録)
がれき類を破碎し、RC40-0(再生砕石)、RC10-0(再生砂)に再生。リサイクル製品は、造成工事や埋め戻し材として再利用。

●土砂系混合廃棄物のリサイクル
混合廃棄物は仕分け場で荷降ろし後、人の手で粗選別を行います。土砂系廃棄物は高精度の分別分



級を行い、埋め戻し材として再生。また、良質な紙と軟質プラスチックはRPF(固形燃料)として再生し、金属類は鉄やアルミなど種類ごとに有価物として分別。

●木材のリサイクル(埼玉県再生事業者登録)

機械ラインは地下構造の他、二重構造室対応で防音効果を高めています。建築廃材を選別・破碎し、木材の等級別にそれぞれの異なる製品を生産。

●特許取得の処理方法

分別分級プラントは、装置の組み合わせと人の手による徹底したライン選別で特許も取得。

●先進装置の導入

段階別に設置された分別スクリーンをはじめ、風力選別機、比重差選別機などの装置を導入。

●高精度色彩選別システム

レンガ片や瓦片などの異物を効率的に除去。色彩センサーが瓦片や廃ガラスを感知し、エアを吹き付けて二段階の色彩選別を行い、従来の処理量の約50%相当に対してシステムを活用できるようになりました。

他にも環境配慮型設備、産官学との共同研究についての説明があり、同社の先進設備の導入や人材教育等、産廃業界の方向性について最先端の技術を見学することができ充実した見学会となりました。

午後にはバスにて帰路につき、夜7時30分に岡崎に到着しました。



石坂産業(株)正面玄関の前で